

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 6月号

2019年6月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：小橋川 聡（牧港中央病院）

MSW ニュースは毎月1日
県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページに更新掲載されています

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

CONTENTS

2019 年度通常総会報告	2
自主勉強会報告	3～4
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会所属の認定社会福祉士の紹介	4
トピックス	5～6
新入会員紹介	6
部会からのお知らせ	7～11
5月理事運営会議録	12～14

2019年度 通常総会 報告

令和元年(2019年)度通常総会を終えて

大浜第一病院 當銘由香

5月22日、ハートライフ病院にて沖縄県MSW協会令和元年通常総会が開催されました。

総会開催前に日本こどもみらい支援機構の武藤杜夫氏による講演がありました。

途中からの参加となったため、最初からきちんと聞くことは出来ませんでしたが、武藤氏の「更生とは挑戦する勇気をよみがえらせること」「すべての子どもには美しい未来を夢見る権利がある」という言葉に少年院や様々な環境に置かれた子ども達への武藤氏の熱い思いを感じる事が出来ました。最後に話してくれた「出会いを大切に」という言葉から、全ての出会いが素晴らしいものであること、どんな出会いにも意味があり人生を変えるきっかけになることを教えて下さったような気がしました。

後半の通常総会は、会員数135名中、直接参加が32名、委任が74名で104名の出席参加で総会成立宣言となりました。始めに各部会より平成30年度事業報告及び収支決算報告があり、次に令和元年度事業計画及び予算案、役員案の報告と続きました。いくつか質問はありましたが全て承認され無事に総会は終了となりました。

樋口会長より今年度事業計画(案)にて、会員の資質向上を目的に経験年数に応じた研修の実施、特に「事例」を元にした研修内容の検討を行うと説明がありました。

私たちMSWは、所属する機関が地域で担う機能を意識し、地域包括ケアシステムの一員として広い視野と専門的知識・技術・態度を備え、個別の生活問題をアセスメントする力、患者さんやご家族の権利を擁護し、多職種や関係機関と協働する力をさらに強化し、支援の質を高めるため、まずは基本となる個別支援を事例を元に振り返ることはとても重要だと感じました。

但し、個別支援のミクロのみではなくメゾ、マクロの広い視野の支援も忘れてはならない視点であり、今後、専門職としてさらに多角的な視点を培う必要性があると感じています。

私は、協会活動はメゾ、マクロの視点でのMSW活動であると考えます。今回報告された各部会の活動計画を他人事として聞くだけでなく、出来るだけ多くの会員が積極的に参画できるとさらに機能団体として成長するのではないかと思います。

年号が令和に代わり、協会も変革の時を迎えています。

皆さん、一緒に機能団体を盛り上げるべく頑張っていきましょう。

自主勉強会報告

めだかの学校

大浜第二病院 医療福祉課 謝敷奈津子

令和元年5月25日に、初任研オリエンテーション&座談会を開催しました。

今年度新たにMSWとして入職した、新卒・既卒の方々へMSWとしての基礎的な知識・技術を身に付けてもらう為の初任者研修。今年は全4回に渡ってのプログラムとなります。

その前準備、参加者の顔合わせとして、ハートライフ病院にて総勢 17 名の皆さんに集まっていただきました。研修部香村さんや琉大病院・大久保さんの力を借りながら、ほんの、ほんの少し先輩、、と言ってよいのかも不明な私と、若松病院・安里さん、ハートライフ病院・佐平さん、宜野湾記念病院・西原さんで司会進行・企画を務めさせていただきました。

座談会ではグループになり、名刺交換や働いてみての感想・意気込みをざっくばらんに話す事ができ、まだ病棟担当していない人や、早くもMSWとしての大変さを痛感している方もおり、一昨年度参加した私はとてもとても親近感を覚えました。

司会進行係りが適当すぎたのか、グループチェンジでは各々で動いてもらった為、同じグループに3回重なる人もおり、顔合わせ所か他己紹介が出来る程、親睦が深まったのではないかと個人的に感じております。(笑)最後には全員揃って記念写真も撮影する事が出来たので、来月から始まる初任研ではリラックスして臨めるのではないかと思います。私も含め初任者の皆さんで力を合わせて、一人前のMSWになれるように自己研鑽していきましょう！ぜひめだかの学校参加もよろしくお願いします！



めだかのホームルーム

公立久米島病院 地域連携室 新垣美鈴

5月、令和初のめだかのホームルームは沖縄赤十字病院で行われました。

今回の事例提供者は同院の兼濱さんでした。兼濱さんは現在、周産期のソーシャルワークに取り組んでおられるそうで、今回の事例は周産期病棟を担当するようになってほどなく介入したケースだったそうです。事例の概要としては、遠方から単身で出産に来られた妊婦さんで、様々な家庭の問題から親族・地域は支援を要すると思いつつも本人は困り感を持っていない、あるいは表出できないという事例でした。兼濱さんが助産師や医師、また自治体や所管行政との連携により徐々に本人のこゝろを知り、少しでもご家族や地域の方々に安心して迎え入れてもらえるように、何よりも本人にとってより良い出産になるように関わってきた過程を共有しました。また、患者さん自身の言葉で気持ちを聞くことが難しい方にもどのように関わればよかったか、周囲の情報に頼って患者を支援していったよいかという葛藤について、参加者から意見を出し合い事例を深掘りしていきました。

私としては資料はわかりやすく、支援もとても丁寧に行われたのだなあと思いつつも参加しましたが、当事者としてはこれでよかったのか、地元に戻った後はどうだったんだろうとずっと気にかけていたそうです。検討終了後の兼濱さんは、安心された様子できらきらして見えました。事例提供者が参加者から違った視点を得、承認される過程でエンパワメントされ、また現場に戻っていく、専門職団体に加入しているからこその特典ですね。

参加者からは、自院では経験することのない支援について自分事として考え、SWrとしての幅を広げることにつながったという感想もありました。私も未知の世界をアップデートし、たくさん学ばせていただきました。SWrの横の連携は支援のためだけではなく、SWrのためにも必要なんだと改めて感じながら、次回を待ちわびています。皆さんも機会があればご参加ください。

* 5月にめだかの放課後の自主勉強会は開催ありませんでした

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会所属の認定社会福祉士の紹介

認定社会福祉士の取得について

中頭病院 秦 克之

認定社会福祉の取得理由としては二つあります。

一つ目は、今後MSWの淘汰や縮小化も予見されるため病院単位で認定社会福祉士の確保が重要になるという視点。(退院支援看護師・院内ケアマネなど他職種との協同など)

もう一つは世帯構造が変化し社会そのものが既存のシステムではなく、新しい概念に基づくシステムが生まれる時期に突入したといえます、その中で自身の実践を社会情勢に合わせて柔軟に変化するための実践を整理する意味の視点です。

正直、今すぐ資格が役に立つのか役に立たないのかはまったくわかりません。

恐らくですが、本気で役に立つのは最低でもたぶん、10年後ぐらいだと思います。

実際はかなり歯ごたえのある充実した学習でした、

久しぶりに夢中で取り組めた課題は大変面白かったです。

仕事終了後ににやにやしながらか課題に取り組んでいる私を見守ってくれた職場の皆様感謝です。

習得を検討したい方がいればお勧めしますよ。

トピックス

* 2019年度、毎月第3月曜日の沖縄タイムス「くらし相談(医療)」欄に、県MSW協会会員より記事が掲載されます。皆さんご覧になって下さい。

「病状以外の悩みは？ソーシャルワーカーに相談を」

県医療ソーシャルワーカー協会会長 樋口美智子

2019年4月15日(月)掲載済

病気やケガで受診や入院をすると、病状のことだけではなく、医療費や仕事のこと、家族のことが心配になります。「本人がどうしても受診しないと言っているがどうしたらよいか」「難病と診断され落ち込み、治療に専念できない」「治療方法を決めなければいけないが情報がない」「介護が必要になったが、利用できるサービスや施設はないか」「生活が苦しくて医療費が支払えない」「がんの治療をしながら仕事をしたい」「ひとり暮らしの人を地域で見守るにはどうしたらよいか」等、病院の医療福祉相談室にはさまざまな相談が寄せられます。

また、無保険者、ホームレス、自殺未遂者、若年出産、子ども虐待やDV等、〈からだ・こころ・くらし〉の危機を抱えた方も病院には多く訪れます。病院は単に病気を治療するだけではなく、多様で複雑な課題を抱えた方々への支援の第一線としての役割も担っています。

ソーシャルワーカーは、このような方々の不安や悩み、苦しみをお聴きし、個別に相談支援を行うとともに、患者さんの権利を守るために意見を発信し、地域のネットワークづくりや社会資源の開発などにも取り組んでいます。特に退院支援では、患者さんの意思を尊重し、患者さん自身の力を活用して「希望の生活、自分らしい暮らし」を創ることができるよう支援しています。ご家族のくらしの再設計や、地域での新しい仲間創りへの橋渡しも行います。

沖縄県の病院には、2019年1月現在135人のソーシャルワーカーが勤務しています。その多くは社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得した専門職です。病院によって相談室の名称が違いますが、どんなことでもよろしいので、スタッフにお声かけいただくか、直接相談室をお訪ねください。

「患者と生き方を考える」

県医療ソーシャルワーカー協会 望月祥子

2019年5月20日(月)掲載済

ある日、朝早く病棟の看護師から1本の電話が医療福祉相談室に入る。「患者さんのご主人が医療費のことで相談したいと来ています。」入院費用を知りたい場合は医療事務で確認できるが、支払いのことで何か困っ

ている時は医療ソーシャルワーカーが相談に乗る。

ご主人の相談は確かに今回の入院費や今後かかる治療費の相談からはじまった。年齢や収入、医療保険の種類によって人それぞれ病院に支払う金額が異なり、手続きが面倒な場合もあるため、丁寧に確認作業を行った。ただ、本当の相談はここからである。私はご主人に「何か他に気がかりなことがおありですか。」と声をかける。妻の治らぬ病気は夫婦と家族のあたり前だった日常生活を大きく脅かしていた。新居の住宅ローン、育ち盛りの子供達のこと、進行する病気のこと、毎月の医療費のこと、生活費のこと、その全てが一挙にご夫婦に押し寄せてきたため、治療に専念できていなかった。

ご夫婦の生活を再構築するため、一緒に経済的課題から整理し、利用できる制度を活用することで、少しずつ落ち着きを取り戻し、子供達との生活や病気の治療など、本来ご夫婦が一番大切に考えている「望む生活」に向き合えるようになった。ご夫婦からかけられた心に残る言葉がある。「(複雑な手続きは)もう大丈夫です。自分達でできます。」「病院も病気も怖い。でも、医療ソーシャルワーカーと出会い、病気以外のことも相談できたから立ち向かえている。」

病気やケガは予期せぬ突然の出来事である。その時、人は一時的に対処する力が落ちる。これからも、病院の中で生活者の視点を持ち、患者さんには病気や障害を乗り越える力があることを信じ、どのように生きていきたいかを一緒に考える存在でありたいと思う。

在宅医療・介護連携 報告

5月の報告は休載します。

新入会員紹介

中部病院 菊池 美幸

はじめまして。県立中部病院で勤務しています菊池美幸と申します。社会福祉士の資格を取って2年目に突入しました。今年の4月から専任退院支援社会福祉士として病棟配置となりました。昨年の退院支援サポートとは違い、様々な疾患で入院してくる患者に対してスクリーニングを行い面談していく中で、私自身の力不足を痛感する日々を過ごしています。

私が1番不得意とする相談援助の仕事をするようになって9年が過ぎます。『国家資格を受けてみたら!』と、私の背中を押してくれたカトリック信者である主人と去年の9月結婚した私も、先月の復活祭で洗礼を授かる事が出来ました。

聖書を勉強するほどに、私が今までストレスに感じていた相談援助の仕事も徐々に苦ではなくなってきました。社会福祉援助の共通基盤である、社会福祉士がとらえる相談援助をスムーズに展開出来る自分になれるよう頑張りたいと思います。

中頭病院 宮城 ゆうき

出身は名護市で結婚を機にうるま市民となりました。それまでは児童福祉職に携わってききましたが、心機一

転職を考えた際、縁あって平成 27 年入職、平成 28 年、30 年に産休、育休を経て今年 4 月から職場復帰しました。

入職当時は、急性期病院のMSWがどのような仕事をしているのかほとんど理解しておらず、未知の世界が繰り広げられ、自分がMSWという職を担っていけるのか葛藤の日々でした。現在も勉強の毎日であり、また子育てで忙しただ中ではありますが、丁寧に指導してくれる上司や相談できる先輩、同僚の存在にとっても助けられています。

急性期病院のMSWとして、人として成長していけるよう、思いやりと感謝の心を忘れず頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

部会からのお知らせ

6月研修部日より

初任者研修(3年未満) ※オリエンテーションとは別に申込必要!

テーマ	①医療制度改革の変遷とMSW業務 ②価値・倫理 ③生活保護 ④医療保険
日時	2019年6月16日(日) 9:00~17:00
会場	沖縄協同病院
参加費	会員無料 会員外は3,000円(当日申込も無料となる)
問い合わせ	株式会社 千家 香村 090-6862-7744

めだかの学校(おおむね経験年数3年未満)

テーマ	①事例の提出 ②初任者オリエンテーション参加
日時	2019年5月25日(土) 14:00
会場	ハートライフ病院 2F講堂
参加費	無料
問い合わせ	大浜第二病院 医療福祉課 謝敷

めだかのホームルーム(おおむね経験年数3年以上)

テーマ	事例検討
日時	2019年7月10日(水) 19:00~
会場	沖縄協同病院
参加費	無料(飲食代100円)
問い合わせ	沖縄協同病院 地域連携課 松永

めだかの放課後(経験年数5年以上)

テーマ	県民健康フェアについて
日時	日時は調整
会場	中頭病院
参加費	無料(飲食代200円)
問い合わせ	大浜第一病院 医療福祉課 當銘

OGSV

テーマ	①初任者研修シラバスについて:認定看護師	②めだかの事例
日時	2019年6月12日(水) 18:30~20:00	
会場	那覇市立病院	
参加費	無料	
問い合わせ	那覇市立病院 樋口	

2019年5月20日付

発行 香村(株式会社 千家)

2019年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修会 要綱

1. 開催の趣旨

実務経験3年未満の医療ソーシャルワーカーに対し、「基礎的な知識・技術を取得すること」、「すぐに実務に役立つ制度等を理解すること」を通し、標準的な医療ソーシャルワーカー業務や、価値・倫理を基盤にした実践を学ぶことを目的とする。

2. 主催

一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

3. 場所

プログラムをご参照ください。

4. 日程

- | | | | |
|------|----------|------|----------|
| ・1回目 | 6月16日(日) | ・2回目 | 7月13日(土) |
| ・3回目 | 7月21日(日) | ・4回目 | 8月4日(日) |

5. 対象

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会に加入している者、又は、会員登録を希望する者(会費は6,000円/年)で、実務経験3年未満の者。

※会員で3年以上の者も後ろで聴講可能(無料)。

※昨年度の受講者で、未受講の科目がある方は是非受講を行ってください!

※会員外は下記のように費用が発生します。

6. 費用

会員:無料(当日、会員登録者も含む) 非会員は各研修 ¥3000円/日

7. その他

●全プログラムの受講者には「沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修 修了証」が発

行されます。

※過去の受講者で、受講できていない科目を全て受講した後、修了証の発行となります。

<申込み方法・お問い合わせ>

○申込書を記載し、**6月7日（金） 17時までにFAX**にて申込みください。

申込み・お問い合わせ先

株式会社 千家 FAX：098-923-0259

TEL：090-6862-7744

生活相談員 香村真範

【プログラム】

— 1回目 — 2019年6月16日（日） 会場：沖縄協同病院

時間	内容	講師
9：00	受付	
9：30-11：00	医療制度改革の変遷とMSW業務 ～社会背景を学び、より広い視野で業務を理解 し実践につなげる～	樋口美智子（那覇市立病院）
11：00-11：10	休憩	
11：10-12：40	医療ソーシャルワーカー価値・倫理	宮良あさの （沖縄国際大学非常勤講師）
12：40-13：40	お昼休憩	
13：40-15：10	実践に必要な制度 ①生活保護 ～制度を理解し、より実践的にMSWとしての活 動ができるようにする～	當銘由香（大浜第一病院）
15：10-15：20	休憩	
15：20-16：50	実践に必要な制度 ②医療保険 ～保険ってなあに？ 医療保険制度の給付を中 心に学びます～	望月祥子（ハートライフ病院）
16：50-17：00	アンケート記入 次回のお知らせ	
17：00	終了	

— 2回目 — 2019年7月13日 会場：未定

時間	内容	講師
13:30	受付	
14:00-15:30	実践に必要な医学知識 ～ 脳卒中 ～	金城正高 (沖縄県立中部病院 神経内科医)
15:30-15:40	休憩	
15:40-17:10	実践に必要な医学知識 ～ 糖尿病 ～	島袋瑞枝 (沖縄県立中部病院 糖尿病認定看護師)
17:10-17:20	アンケート 次回のお知らせ	
17:20	終了	

— 3回目 — 2019年7月21日(日) 会場：沖縄協同病院

9:00	受付	
9:30-10:10	医療機関機能別専門知識 (急性期)	宮城幸之佑 (中頭病院)
10:10-10:20	休憩	
10:20-11:00	医療機関機能別専門知識 (回復期)	安慶名真樹 (大浜第二病院)
11:00-11:10	休憩	
11:10-11:50	医療機関機能別専門知識 (緩和ケア)	長原野 (沖縄協同病院)
11:50-12:00	休憩	
12:00-12:40	医療機関機能別専門知識 (精神科)	知花勉 (新垣病院 PSW)
12:40-13:40	お昼休憩	
13:40-15:10	実践に必要な制度 ③介護保険 ～退院する際に最も利用頻度の高い制度！現場 で役立つ基本的な知識を学ぼう！～	香村真範 (株式会社 千家)

15:10-15:20	休憩	
15:20-16:50:	チーム医療におけるMSWの役割 ～なぜ、チーム(多職種協同)が必要か。その中でMSWの役割を学びます～	大城将平 (沖縄リハビリテーションセンター病院)
16:50-17:00	アンケート記入 次回のお知らせ	
17:00	終了	

— 4回目 — 2019年8月4日(日) 会場:〇〇〇〇

時間	内容	講師
9:00	受付	
9:30-11:00	アセスメント	島袋恭子
11:00-11:10	休憩	
11:10-12:40	記録について	當銘由香(大浜第一病院)
12:40-13:40	お昼休憩	
13:40-15:10	退院援助① ～患者(家族)の思いを大事にしながら、退院援助に必要な視点・知識・方法について学びます～	伊禮智則(那覇市立病院)
15:10-15:20	休憩	
15:20-16:50	退院援助② ～患者(家族)の思いを大事にしながら、退院援助に必要な視点・知識・方法について学びます～	秦克之(中頭病院)
16:50-17:00	アンケート記入 次回お知らせ	
17:00	終了	

お疲れさまでした!

5月理事運営議事録

MSW 協会理事会 5月議事録

2019年5月20日(月)19:00～21:00

場所: 県総合福祉センター

【参加者】樋口会長、新垣副会長、當銘事務局長(司会)、安慶名、伊禮、長、高江洲、小橋川、香村(書記)

【欠席者】又吉副会長、秦、山城、石郷岡

1. 各部報告

[研修部]香村

1) 総会研修(講演会)

日時: 2019年5月22日(水)14:00～

内容: タイトル「なぜ、少年院で人生が変わるのか？」

講師 武藤杜夫氏(日本こどもみらい支援機構)

当日は13:00入り。PC、音響等の確認や講演内容の打ち合わせを予定。

講演料と交通費は、当日支払いを當銘事務局長にて準備。

講演後、機構の活動へ寄付金を募る(機構側にてアナウンスする)

武藤氏の講演風景(活動)を撮影するため、放送局が入る予定。

2) 自主勉強会

・めだかの学校

事例検討会を8月と1月に計画。事例が5/25提出予定。その後、OGSVにてバイザー選出や事例選定を行っていく。

施設見学について。資源の把握、施設や事業の法的な位置付を学び、皆で振り返りを行い今後の退院支援業務に活かせるようにする。また、ニュースへの報告を行う事。次年度以降も施設等の見学を計画すること。

・めだかのHR。

7月10日(水)19:00～沖縄協同病院にて事例検討会を予定。9月は久米島にて事例検討会を1泊で計画中。

・めだかの放課後。県民健康フェアの内容について日時調整へ。

・OGSV。6月12日(水)18:30～那覇市立病院にて、初任者シラバスとめだか事例について。

3) 初任者研修

オリエンテーション: 5/25(土) 場所: ハートライフ病院 今日現在15名の申込。

初任者研修: 第一回目 6/16(日) 場所: 沖縄協同病院 予定

第二回目 7/13(土) 場所: 未定

医学講座 脳卒中(金城正高先生) 糖尿病(島袋瑞枝 糖尿病認定看護師)

第三回目 7/21(日)場所:沖繩協同病院

第四回目 8/4(日)場所:未定

中堅者研修:「ISTT」3年シリーズ3年目。来年の1月～2月で講師と調整へ。

[広報部]安慶名

1)7月ニュース編集担当 牧港中央病院 小橋川さん

2)H29年とH30年度の県委託事業のデータをHPに掲載できるように担当者へ依頼。

[社会活動部]

1)県民健康フェア 8/25(日)開催予定

- ・全体の企画内容は、職場体験につながるよう各団体を回る方法を提案し採用される見込み。会議が6/13予定のため、それまでに放課後にて具体的に詰めていくことへ。

- ・当協会のブースは例年同様にクイズ形式。景品をお菓子から別の物へ検討。

[事務局]當銘

- ・会員の動向は入会1名。入会、退会、変更届を提出するよう促す。

- ・総会について。議案(事業報告・各部報告・収支決算(弁護士確認待ち)・理事案・監査等)を終え印刷する予定。議長等の選出は出席予定者へ協力を依頼していく。

- ・協会の金銭管理を事務田福にて行うこと。立替した分は2ヶ月以内に提出し処理できるようにする。また大きなお金の準備は数日前に依頼する。

[その他]

- ・4団体について。今年度は社福会が事務局。セミナーは2/22(土)を予定。ソーシャルワーカーデイは交流会(ボウリング等)の企画を予定。夏の参議院選挙の公開質問は各団体1つに絞る。

- ・ハンセン病市民学会。5/18～20 宮古にて開催。

- ・日本ハンセン病学会総会学術大会。5/30～6/1 沖繩愛楽園にて開催。学会長と4団体会長との意見交換会を予定。4団体から担当者を決め、質問を集約し意見交換できるようにしたい。

- ・熊本県医療ソーシャルワーカー協会総会へ樋口会長が参加(5/25)

- ・日本社会福祉士会全国大会(茨城大会)6/1～2。

- ・日本医療社会福祉協会全国大会(かながわ大会)6/7～9。樋口会長、新垣副会長、當銘事務局長が参加予定。

- ・県委託デザイン事業(配布資料参照)

各圏域共通のルール策定を目指す(大阪や日南版を参考に)。理念のような位置付も含めて。推進会議は年3回を予定し、デザイン事業の進捗や各圏域活動の集約や確認を行う。

メンバー構成は各職能団体・組織代表・実務者やコーディネーターからの推薦で選出し重複しないよう検討する。各圏域の協議会にて議題にして意見を集約することも可能か。

市町村向けに事業の実施状況を確認すべく、アンケート(別紙案をコーディネーターへ確認し県より発信)実施する予定。

- ・沖繩緩和ケア研究会設立のご案内(長より)。詳細は別紙参照。総会時に会員へお知らせする。

- ・那覇市チャージがんじゅう課との介護保険申請連絡票について。

連絡票を正式に進めていく方針を確認。那覇市のサマリー統一にあわせ、この連絡票も一緒に入れていただく予定。アンケートを実施した施設へ効果測定(再アンケート)をする必要があるか検討していくことへ。

次回理事会 6月17日(月)19:00～ 司会:樋口、書記:長、連絡:香村

.....

☆ 編集後記 ☆

ゴールデンウィークも明け、ジメジメとした梅雨になると思いきや、、、！！
晴天が続き、洗濯日和で嬉しい毎日です(^O^)
お忙しい中、原稿を快く引き受けてくださった方々、有難うございました！！
皆様、熱中症にはくれぐれもお気をつけ下さい。

MSW ニュースは毎月1日、県医療ソーシャルワーカー協会
ホームページに更新掲載されています
ホームページでご確認ください。

<http://www.msw-oaswhs.jp/>